

| 真鍮のこと |

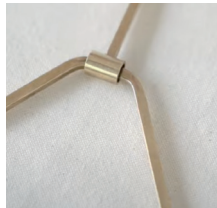
Point 1 真鍮ってなに？

銅と亜鉛を混ぜ合わせた合金のことを「真鍮」といいます。
それぞれの割合や与える熱によって、仕上がりの色が変化します。
真鍮は「黄銅（おうどう）」や「 brass（brass）」とも呼ばれ、
日本で真鍮が用いられるようになったのは江戸時代中期以降といわれています。
サクソやトランペットという管楽器に使われており、
金管楽器のみの楽団を表す“ brassバンド”という言葉は馴染み深いと思います。

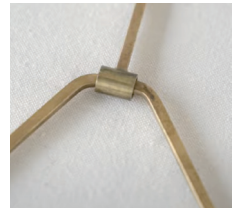
Point 2 真鍮の特徴

時とともに表情が変化していく

真鍮製品ならではの魅力として「経年変化」があります。
最初はピカピカですが、月日が経つにつれ、酸化によってくすんだような色味へと変化し、風合いが増します。
使うほどに味わいのあるアンティーク調の色味になるため、長く使うことで愛着が湧いてくる素材です。



経年変化前



経年変化後

Point 3 真鍮のお手入れ方法

本来の輝きを取り戻す方法

真鍮本来の輝きを取り戻したい場合は、ティースプーン1杯の重曹に水を加えて、布に含ませて磨きます。
磨き終わったら水分はしっかりと拭き取ってください。
重曹の他にも、専用クリーム、お酢、歯磨き粉などを使ってもOKです。



お手入れ前



お手入れ後



真鍮のお手入れ動画のご案内

アクセス公式 YouTube チャンネルにて、真鍮製品のお手入れ方法を詳しくご紹介しております。
こちらの QR コードからご覧ください。